

隼人族の守護神

弥五郎どん祭り



今年も秋の風物詩「岩川八幡神社の弥五郎どん祭り」が11月3日、岩川八幡神社を中心に盛大に開催されました。祭りのメインは、午後1時から「弥五郎どんの浜下り」。子どもたちに引かれた弥五郎どんが鳥居をくぐり登場すると、大勢の観衆から大歓声があがりました。

巨体を揺らしながら、悠々と市街地を練り歩く弥五郎どん。途中雨に濡れながらもその姿は力強く岩川の町に秋の訪れを告げていました。

ビクトリーブーケ作り



弥五郎どん祭りの前日、岩川小学校で「花育教室」が行われました。県スプレー菊研究会が主催し、JAそお鹿児島が花材を提供。6年生の児童40人がスプレー菊などを使ったブーケ作りを体験し、色鮮やかな作品を仕上げていました。

大隅町でスプレー菊を生産している小湊健一さんは「菊には大事な人と人との繋げる役目がある。菊に触れて感謝の気持ちを養ってほしい」と話しました。ブーケ作りを体験した同小6年の牧之瀬浩駿さんは「初めての体験だったと思ったより簡単に作ることができた。家族に渡して、喜ぶ顔が見たいです」と話しました。

作品の一部は、弥五郎どん祭り武道大会のビクトリーブーケとして提供されました。

※ビクトリーブーケとは：オリンピックピックなどで、勝者にメダルとともに贈られる花束。